

## 執筆者紹介（本文執筆順）

吉川仁子（よしかわ ひとこ）奈良女子大学文学部准教授。専門は日本近代文学。主要論文「芥川龍之介『玄鶴山房』考―阪本龍門文庫蔵自筆原稿の検討を通して―」（『叙説』平成十四年十二月）「夏目漱石と森田草平 手紙を書く女・書かない女」（『女の手紙』双文社出版 平成十六年）「夏目漱石『明暗』論―清子らしさとは何か?―」（『明暗』論集 清子のいる風景』和泉書院 平成十九年）

橋元淳一郎（はしもと じゅんいちろう）相愛大学名誉教授。著書『時間はどこで生まれるのか』（集英社新書）『神の仕掛けた玩具』（講談社）。日本文藝家協会、日本SF作家クラブ、日本物理学会、日本天文学会員。

東浦弘樹（とううら ひろき）関西学院大学文学部教授（フランス文学）。演劇ユニット・チーム銀河代表、劇作家、役者。著書『晴れた日には「異邦人」を読もう―アルベール・カミュと「やさしい無関心」』（世界思想社、二〇一〇年）、『フランス恋愛文学をたのしむ―その誕生から現在まで』（世界思想社、二〇一二年）他。

平瀬礼太（ひらせ れいた）美術史家。著書『講座日本美術史6 美術を支えるもの』（共著、東京大学出版会）、『戦争と美術』（共著、国書刊行会）、『銅像受難の近代』（吉川弘文館、二〇一一年）（第23回倫雅美術奨励賞）。「彫刻と戦争の近代」（吉川弘文館、二〇一三年）『肖像』文化考』（春秋社、二〇一四年）

呉谷充利（くれたに みつとし）建築史家、相愛大学名誉教授。著書『志賀直哉 上高畑の「サロン」をめぐる考察』（創元社）『近代 あるいは建築のゆくえ』（創元社）『志賀直哉旧居の復元』（学校法人奈良学園）『中之島図書館、新たな百年の二歩―歴史から学ぶこと』（明日の中之島図書館を考える会）他。

## りずむ 第七号

平成三十年三月二十五日印刷  
平成三十年三月三十日 発行

編・発行者 白樺サロンの会

公開講座 〒630-8301 奈良市高畑町二二三七―二一

志賀直哉旧居（学校法人奈良学園セミナーハウス）  
〇七四二（二六）六四九〇

発行所・事務局 〒658-0003 神戸市東灘区本山北町五丁目  
一〇―二二―二〇一

白樺サロンの会

〇七八四五三三五四五

印刷所 〒615-0052 京都市右京区西院清水町一三

協和印刷株式会社

〇七五三二二四〇一〇